

# 子どものよさを支えて伸ばす生徒指導の工夫

— よさをみとって気持ちを伝え合う「輝きシート」の活用と「道徳」の授業を通して —

生徒指導・教育相談班 秋元 守（小学校教諭）

## 研究の概要

**思春期の入り口**にいる小学校高学年の子どもたちは、様々な試練に出会い悩み始める。自分の能力に疑問を感じたり、友達関係・家族の関係にも変化が生じる中で不安を感じたりしている。友達・保護者・教員が、子どもたちのよさをみとり・励まし・認めながら**支えていく**ことで、子どもたちのよさをさらに伸ばしていく**生徒指導（自己指導能力・自己肯定感の向上）**が、本研究の目的である。

友達・保護者・教員がつながり合う場として**「輝きシート」**を開発・活用する。また、より深く気持ちを伝え合い支え合うことをねらいとした**「道徳」の授業**を通して、さらに個々のよさを引き出し、伸ばすことができると考え、本主題を設定した。

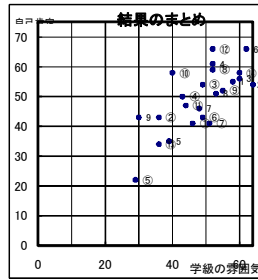
## 実践内容

### ○ C&S調査をする

C & S 調査で「自己肯定感」（縦軸）と「学級の雰囲気」（横軸）の2つの観点から実態を把握する。



「この子の自己肯定感が低いのはどうしてかな?」「心配していたこの子は自信がないのかな」



### ◆ 「輝きシート」を活用する

- ① 学校生活（教室）と主要な行事で、一人一人のよさを友達・保護者・教員で見つけてシートに記入する。
- ② 自分のよさ・頑張る場所を記入することで意識化し、努力する。
- ③ 一人一人の頑張り・努力をみんなでみとり、シートに記入する。子ども自身が肯定的な評価を受け止めながら、新たな目標を立てる。

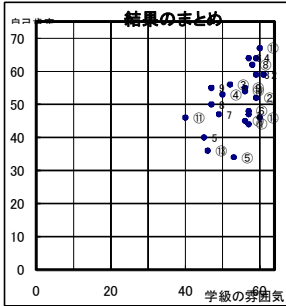
今の自分を見つめてみよう ① ここや頑張ります！（目標を具体的に） ② 〇〇〇まで1回になりたい。（実力で走る目標をする） ③ できる限り一杯一杯頑張りたい。 ④ んかず競走で力を合わせて頑張りたい。 ⑤ 組立練習ではよの人をしっかり教えたい。	応援団はこう見ているよ 会生をかみ。 「みかずは素晴らしいチームになったな！先陣で頑張っている姿はとっても嬉しいなぞ！」 ⑥ 応援をかみ。 「競走の選手が、一杯一杯頑張って欲しいと結果より、一つ一つ真剣に取り組めばいいと思います。」
振り返ろう④ 自分には何かが頑張 自分なりに一杯一杯頑張れて良かった。競走の選手で頑張れて良かった。楽しかったです。	会生をかみ。 運動で、みんなの力が合うように頑張ってくれた！あと、みんなをまとめてくれた、みかずのとき、一番前で引っ張って、カッコ良かったよ！
⑦ 感じたこと・思ったこと みかずの声援はとっても良かったけど、みんなの力があって頑張れました。	⑧ 先生から。 「選手さんの頑張りで、みかずの『道徳の授業』の姿は一生忘れられないぞ！、聞いていました！」
⑨ 更に輝きます！（目標を改善する） 「競走の選手で、これからの目標を全て達成し、みんなの力を合わせて、（マラソン大会など）全力で取り組みたいです！」	⑩ 保護者から。 「競走の選手で、これからの目標を全て達成し、みんなの力を合わせて、（マラソン大会など）全力で取り組みたいです！」

### ◆ 「道徳」の授業で、気持ちを伝え合う

- ① 「わたしはわたしらしく」（文溪堂6年生の道徳）授業の中で「Xさんからの手紙（SGE）」を実施して、友達のよさと友達に対する気持ちを伝え合う。
- ② 「心に通じたどうぞのひとこと」（東京書籍道徳6）授業の中で保護者からの「ありがとうの手紙」を読んで、「ありがとうの言葉の力」と「保護者の気持ち・愛情」を実感する共に、保護者に返事の手紙を書くことで気持ちを伝え合う。

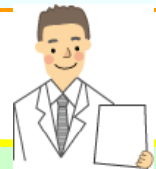


### ○ 再度、C&S調査をする



	子どもの声	保護者の声
輝きシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ みんなの目で自分のよさが分かった。</li> <li>◆ ほめられてうれしかった。</li> <li>◆ 目標を達成できたこととできなかったことがあった。さらに長所を伸ばして短所を直せるように頑張る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 身近な目標を立て、一步一步進んでいく感じがいい。</li> <li>◆ 家庭では見えない長所が分かったのでたくさんほめてあげたい。</li> <li>◆ ほめることによって子どもが自信をつけ、さらに高い目標をもった。</li> </ul>
手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分への思いがよく分かって、心が温かくなった。</li> <li>◆ 幸せな気持ちになった。一生忘れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 年頃なので互いに素直になれてうれしかった。</li> <li>◆ 関係が深まった。手紙は一生の宝物。</li> </ul>

「自己肯定感と学級の雰囲気が向上し、まとまりのある集団に近づいたな」



## 成果と課題

### ○ 「輝きシート」の活用

- ◆ 子どもたちが、他者からの肯定的評価を受けて、自分のよさを自覚し、努力できる場所を見つけることができた。
- ◆ 保護者・担任が子どものよさに気づき、ほめるチャンスを増やすことができた。
- ◆ 子どもたちが、その子の頑張りやよさを友達・保護者・教員のつながりの中で**「認められ支えられる」**ことで、ますます意欲が高まり、新たな目標を立てるなど**「自己指導能力」**の向上につながった。

### ○ 「道徳」の授業で気持ちの伝え合い

- ◆ 互いの思いや気持ちを再確認し、「**支えられている実感**」をもつことで、「**自己肯定感**」が向上した。
- ◆ 互いの関係が深まり、学級のつながり（学級の雰囲気）と親子のつながりが強くなった。

高学年の多感な時代の入り口に差しかった子どもたちを、みんなで支えていくことが、子どもたちの安心感につながり、自分のよさを意識しながら頑張る力の源になることを確認できた。友達・保護者・教員のつながる力をさらに強固にすることにより、一人一人の子どもたちのよさを伸ばしていきたい。